



【平和祈念像の前での平和集会】

- おうちの方々は、例年より細やかな準備を一緒にしてくださりと、見送りやお迎えをしてくださいました。
- 国、県、町は、密にならないようにバスをもう1台増やしてくださいました。
- 運転手さんは、乗車の度に手指に消毒スプレーまでしてくださりと、安全運転をしてくださいました。
- ガイドさんは、気持ちを汲みながら道具を使い回さないで楽しめる車内の時間を作ってくださいました。
- 添乗員さんは、いくつもの旅行の提案と、どうやったら実施できるか知恵を絞ってくださいました。
- カメラマンさんは、マスクをとるタイミングや並び方に時間がかからない工夫をしてくださいました。
- 博物館のガイドさんは、展示物を触れることができない中で、わかりやすく説明してくださいました。
- 下平先生は、戦争の悲惨さ、命の重さやたくましく生き抜く勇気を心の底から教えてくださいました。
- ホテルの方々は、食事の仕方を細かく指示してくださりと、チェックもしてくださいました。
- 長崎の方々は、やさしく道を教えてくださりと、落とし物も目立たないように届けてくださいました。
- 先生たちは、早朝から深夜までみなさんの側にほどよい距離につき、気をつけることを教え、よさを認め、できたことをほめて返してありました。
- そして、みなさんは自分たちで地図を広げ、自分たちで道を尋ね、自分たちで記録し、自分たちで学び、自分たちで学んだことを広げ、自分たちで楽しみました。

修学旅行のよさ、意義、大切さを改めて教えてくれた6年生のみなさん。本当に楽しい思い出をありがとうございました。これから、卒業までにどのような姿を見せてくれるのかとても楽しみです。

ヤッホー

ヤッホー

ヤッホー

ヤッホー

ヤッホー



【清水山大観望でやまびこっこをする5年生】

大きな集団で泊まることはやはり現状難しい。5年生の宿泊訓練は本年度は無理かも知れないとあきらめかけていた時に、担任たちは立ち上がりました。「よし！清水山で登山を体験させよう！全員を山頂まで登らせよう！」事前に学校から歩いて山頂まで登り（すごい）、適切な距離、休憩場所、危険箇所等を確認しました。

当日。いざ、道の駅みやまを出発！平地で暮らしている本校の子どもたち。山道に入るやいなや景色や空気が変わることには驚きや楽しさを見つけていました。木々に覆われた急な山道をへとへとになりながら登り、最後に大観望に出ました。下界に広がる大地を見下ろしながら「ヤッホー！！」とやまびこが返ってくるのを楽しんでいました。驚かされたのは、おいしい空気の中で食べたおいしいお弁当のあとの事です。なんと、けいどろ（おにごっこ）が始まりました。最後には、「女性陣は30秒後、男性陣は1分後に、鬼になってください。」と私たちまで参加する羽目に。登山のあとの鬼ごっこは体に応えました。「こんな勉強なら毎日したい。」と話す子どももいました。下山後のふり返りでは「山は沢山の自然がありとてもきれいでした。きつい時もあったけど、みんなと一緒に乗り越えることができよかったです。」とこの体験のよさを話すことができていました。

ミニミニあいさつ隊が地域を明るくする



【正門前のミニミニあいさつ隊】

毎朝の正門での交通&挨拶指導。なぜか最近ではミニミニあいさつ隊ができています。朝から、明るく元気な声で「おはようございま〜す！」と地域の方々に挨拶をしています。

するとどうでしょう。私一人の時よりも何倍もの笑顔が返ってきます。

子どもたちの力は素晴らしいです。



【思わず笑顔の役場の方々】